

令和6年度周南市こども育成支援対策審議会(第7期第6回)会議録

日 時	令和6年12月23日(月) 15時15分～16時45分
場 所	周南市徳山保健センター3階 健康増進室1
議 事	議題 1. 周南市こども計画素案について 2. 特定教育・保育施設の利用定員の変更について
出席者	● 委員10名 ※会議成立 竹下会長、兼重副会長、金子委員、田中委員、大嶋委員、大野委員、小林委員、山本委員、合田委員、溝渕委員 (欠席：木村委員、秋重委員、河村委員、加村委員) ● 事務局13名 こども未来部 福谷部長 あんしん子育て推進課：柿並課長、宮崎主幹、国廣課長補佐、 柏村課長補佐、高木係長 子育て給付課：浴井課長 こども保育課：林課長(こども未来部次長)、清水課長補佐、 松村課長補佐、長尾係長 生涯学習課：上野課長 学校教育課：有福主幹 ● 業務受託事業者：一般財団法人山口経済研究所、 株式会社サーベイリサーチセンター

議題1. 周南市こども計画素案について

資料1

周南市こども計画 素案 (Ver2)

資料2

新旧対照表 (周南市こども計画 素案 Ver1→Ver2)

◎会長	議題の件について、事務局から説明をお願いします。
□事務局	<u>あんしん子育て推進課</u> 資料に基づき、こども計画の素案について説明。
◎会長	限られた期間でニーズ調査から計画素案作成まで進めていただき感謝する。今回の素案は、ニーズ調査の結果や現行の第2期計画の実績・課題等を踏まえて作成したものと理解しているが、審議会に多様な分野から参加いただいていることも踏まえ、市として特に深刻な課題と考えている点があれば共有願う。
□事務局	<u>あんしん子育て推進課</u>

	ニーズ調査結果のうち、計画素案の 20 ページに掲載した「周南市は子育てしやすいまちか」との設問への回答に関して、「子育てしやすい」との回答割合が前回調査と比べて減少している。この点は、全国的な傾向と同様ではあるものの、いずれにしても結果を真摯に受け止め、次回の調査ではこの比率が上がるように努めていきたい。 また、若者の意見として、人口減少対策として多くの自治体で開催されている「婚活イベント」への抵抗が多くあったことから、若者施策の展開も課題と捉えている。
◎会長	今回の計画素案では、子育て支援に関して、質の面にこだわって注力しているという市の姿勢が窺える。 課題としては、様々な子育て支援メニューが用意されている中で、自力でアクセスできない人の利用をどのように増やしていくかという点が挙げられ、これは周南市に限らず社会福祉全般の課題である。 もう 1 点質問だが、いわゆる「ポピュレーションアプローチ」に関して尋ねたい。育児不安を抱えながら子育てを行っている家庭では、こどもの学力低下や虐待等のリスクが懸念されており、ポピュレーションアプローチによる支援が重要と考えられるが、幼稚園や保育所、認定こども園の活用等、何らかの方向性があれば教えていただきたい。
□事務局	<u>あんしん子育て推進課</u> ポピュレーションアプローチに関しては、国が様々な子育て支援メニューを提示しており、その 1 つとして子育て支援センターの機能充実が挙げられる。市としては子育て支援センターだけでなく、保育所等の活用も考えているが、いずれにしても子育て家庭に身近な場所での支援を強化していきたい。令和 8 年度からは新規事業として「乳児等通園支援事業」の実施を予定しており、これらの事業も絡めながら進めていきたい。
◎会長	ポピュレーションアプローチに関しては、スマホアプリを活用している自治体もあり、こうした動きについては今後も注目し、市に提案できるようなものがあれば連携していく。 その他に、委員の皆さんから意見や質問があればお願いしたい。
○委員	57 ページに記載している「発達支援体制の充実」に関して、教育・保育施設や医療機関と連携して、支援の必要なこどもの早期発見と支援に取り組むとしており、関係主体間の連携を進めるという点が良いと思う。
○委員	発達支援に関しては充実してきたと現場でも感じており、今後も引き続き拡充して欲しい。 こどもの居場所づくりという点では、部活動の地域移行が大きな課題である。部活動がなくなり、地域で活動することになるこどもたちへのサポー

	トに関しては、市としてどう考えているのか。
□事務局	学校教育課 部活動の地域移行に関しては、スポーツ・文化の充実を目標に、中学生が地域で活動するための受け皿づくりに向けた準備を進めており、活動団体の登録について募集しているところである。移行後は、中学生が複数の団体を掛け持ちして活動することも可能となるため、身体のケアも含めて、学校でもしっかりサポートしていく方針である。
□事務局	あんしん子育て推進課 部活動の地域移行については、計画素案の 51 ページ「③文化・スポーツ交流」に記載しているほか、53 ページには計画の目標値として、スポーツ活動サポートセンターに登録される地域クラブ数を 130 団体とする旨を掲げている。なお、文化分野に関しては、美術博物館での特別展や企画展の観覧者数を目標値とする。
○委員	30～31 ページの、こども・若者の意識調査に関する結果をみると、こどもを持ちたいと考えている若者は決して少なくはないと感じた。子育てはとにかく大変だと言われるが、子育ての喜びを若者に伝えるような取組ができれば良いと思う。 部活動の地域移行については、送迎が大変になるとの声を聞くので、そうした部分を何らかの形でサポートする方法があればと感じた。
○委員	不登校の児童・生徒が年々増えており、学校に通えないこどもの受け皿の確保と子供の親の心理面でのサポートが重要と思われる。 それから、公園が親同士の交流の拠点としての役割を果たしている面があるので、子育ての悩みの解消につなげる上でも、公園の整備を進めて欲しい。
○委員	60 ページの「（１）児童虐待防止対策の充実」に関して、こどもや家庭からの SOS が発信されやすい環境づくりが必要という点はその通りだと思う。対策として 62 ページに「アウトリーチ」による支援を打ち出している点も重要であり、支援する側が足を運んで働きかけるとともに、支援される側に受け入れてもらうことが必要と感じている。
□事務局	学校教育課 不登校の問題については、63 ページの「④教育の保障」に記載のとおり、教育支援センターを活用した取組を進めていく。現在、3つの中学校に「ステップアップルーム」を設け、専属の教職員が支援を行っているほか、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携も図っている。
○委員	国が検討している「103 万円の壁」の対策が実行に移されると、市の税収

	が減少し、子育て支援施策の実施に影響が及ぶのではないかと。市としての考え方を聞きたい。
□事務局	こども未来部長 「103 万円の壁」への対応は国の所管ではあるが、これに伴う税収減が生じる場合の補填に関しては知事会等を通じて要望している。そもそも、「103 万円の壁」の問題に限らず、人口減少や産業衰退等で市の歳入は厳しいところであるが、進めるべき子育て支援はしっかりと行っていく。
○委員	今回の計画素案に盛り込んだ様々な支援策が、本当に必要な人に届き、生活がより充実すればと思う。 また、計画の推進にあたっては、目標と現状に著しい乖離が生じた場合に見直しを行うことが重要である。これに関連して、目標値として数値を掲げていない指標についての考え方をお尋ねしたい。
□事務局	あんしん子育て推進課 例えば、53 ページにおける「こどもの居場所づくり支援」の目標については、単に「推進」としている。こども食堂の数を目標にすることも考えたが、単に数が増えれば良いのかという問題もある。但し、こどもの居場所づくり自体は、推進していく事業であり、活動団体へのバックアップを行うなどによりその活動を持続可能なものとし、こどものニーズに即した居場所づくりを進めていくという意味で「推進」としている。 また、64 ページでは「こども家庭センターの相談支援体制」の目標を「現状維持」としている。この点に関しても、相談件数を目標とした場合、多いのが良いのか、それとも少ない方が良いのかという問題がある。市としては、不安を抱えている方に相談していただき、しっかり支援していくというスタンスであり、そのための体制を維持していくという意味で「現状維持」とした。これらは数値で表しにくい目標であることから、言葉として表現している。
□事務局	あんしん子育て推進課長 キーワードは「多様性」だと考えている。こどもの居場所といっても、放課後子供教室やこども食堂など様々であり、他にも地域の団体が多彩な形で活動している。市としては、一概に数値目標を設定することが難しいため、「推進」という形にしている。こども家庭センターに関しても、専門職を配置するなど多様な相談に対応できる体制をしっかりと確保していくことが重要との考えで「現状維持」としている。これらに関しては計画において重要な取組であるため目標を掲げるが、数値ではなく「推進」等の言葉で設定している。
◎会長	目標に関しては、全てが定量化できるものではなく、定性的なものがあ

	ても良いと考える。 委員の皆さんからいただいた意見については、今後の計画策定に反映していただきたい。
議題 2. 特定教育・保育施設の利用定員の変更について	
資料 3 特定教育・保育施設の利用定員の変更について	
◎会長	議題の件について、事務局から説明をお願いします。
□事務局	こども保育課 資料 3 に基づき、特定教育・保育施設の利用定員の変更について説明。
○委員	質問・意見なし
□事務局	あんしん子育て推進課 こども計画の素案については、市の他の計画との整合性も勘案しながら修正の上、1月中旬～2月中旬にかけてパブリックコメントを実施する。次回の審議会は3月6日の午後を予定しており、その際にはパブリックコメントの結果と計画の最終案を提示する。計画の完成は3月末を予定している。 計画素案に関してご意見等があれば、別途事務局までご連絡いただきたい。
◎会長	他に意見がなければ、本日の審議を終了する。